

2017年 プログラム近況報告

エルサルバドル サンアグスティン地域開発プログラム

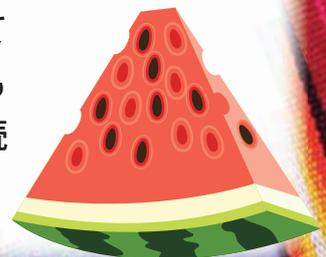
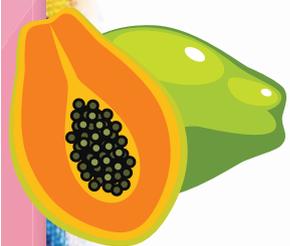
ご支援により サンアグスティン地域の 子どもたちの生活が改善しています



サンアグスティン地域開発
プログラム マネージャー
ラファエル・フェンテス

サンアグスティン地域の子どもたちの生活に変化をもたらすためにご支援くださり、誠にありがとうございます。今年の最大の成果は、子どもたちが勉強により集中できるよう、学習環境を改善できたことです。また、子どもたちが緊急時の対応について学べたことも喜ばしい成果でした。

一方で、私たちが直面している最大の課題は、ギャングの存在と暴力の脅威により、多くの家族が地域を離れてしまうことです。このことが、地域開発活動への子どもたちの継続的な参加を難しくしています。皆さまの継続的なご支援に、改めて心より感謝申し上げます。



サンアグスティン地域での 主な成果



就学前教育センターで楽しく学ぶ子どもたち

健康状態が改善しました

より多くの子どもたちが元気に過ごす方法を学びました。245人の母親が手の洗い方と水の浄化方法を学びました。この母親たちは264人の子どもたちに病気から身を守る方法を教えました。

教育を受けました

子どもたちが成績向上のための支援を受けました。子どもクラブで528人の子どもたちに対して補習指導を行い、成績が向上しました。

若者が職業の多様な選択肢について知りました。青少年クラブで身につけた技能を活かし、19人の若者が小規模ビジネスを始めました。

地域の人々の中で大切に保護されて成長しました

より快適な学校で子どもたちが学んでいます。新たに2つの教室が建設され、1,500人の小学生と70人の幼稚園児の学習環境が改善されました。

芸術を通して子どもたちが自己表現をしています。630人の子どもたちが新しいスキルとして絵画とダンスを学び、24人が音楽の和音や音階を学びました。



パン作りの講習会で菓子パンの作り方を学んでいるところ

価値ある存在として尊重され愛情を受けました

子どもたちが家族と健全な関係を築いています。合計863人の子どもたちが、平和な家庭や地域を築くための学習活動に参加しました。

子どもたちが身を守る方法を学びました。97人の若者が、性と生殖の健康と薬物乱用の危険性についての研修を受けました。

チャイルドの絵（フリサ、7歳）



「前は教室の中がとても暑かったです。でも教室が広くきれいになり、前よりも涼しくなりました。」

アレイダちゃん（7歳、前列右から4番目）



「以前は、幼い子どもたちが教育を受ける場がありませんでした。今はこの就学前教育センターのおかげで、子どもたちが就学に向けて準備をすることができます。」

マルタさん（幼稚園の教師、一番右のピンク色のシャツを着ている女性）



「多くの新しい技能を学べるので、様々な活動に参加するのが好きです。今日はパンの作り方を学びました。」

ロメル君（14歳、パンを作っている女性の右にいる少年）



「ひどい干ばつでトウモロコシと豆を収穫することができませんでした。しかし、苦しんでいた家庭に食料が支援され、立ち直ることができました。」

ホセさん（地域の農家、前列中央のグレーのシャツを着ている男性）





チャイルドの絵
(ヴァレリア、10歳)

特別な支援を受けて 障がいを乗り越える

「娘には聴覚障がいがあり、とても引っ込み思案な性格だったため、人とのコミュニケーションが上手にできませんでした。私たちが暮らす農村部では、娘は教育的支援を受けることができず、勉強する上でも困難がありました」と語るのは、母親のローサさんです。

「けれども、ワールド・ビジョンの支援を受けて、娘は新しい技能を身につけています。裁縫を学び、スポーツ競技にも参加するようになりました。

夢中になって取り組む中で自信がつき、ヤンシーは全国障がい者スポーツ大会でこれまでに14個のメダルを獲得しました。コミュニケーション能力も向上し、今は手話を学んでいます。私は娘をととても誇らしく思います。」



ローサさん（左）と自慢の娘ヤンシーさん（右）。娘が特別な支援を受けて、聴覚障がいに負けずにスポーツ競技で優秀な成績を修めていることを、ローサさんは誇りに思っています。



お問合せ先
特定非営利活動法人
ワールド・ビジョン・ジャパン
電話：03-5334-5351（平日9:30～17:00）
e-mail：dservice@worldvision.or.jp
ホームページ：www.worldvision.jp

プログラム番号
SLV-190776



エルサルバドル サンアグスティン地域開発プログラム (SLV-190776)
2016年度 (2015年10月1日-2016年9月30日)

会計報告

プログラム支援額	(単位:円)
チャイルド・スポンサーシップ当期支援額	36,671,470
前期からの繰越額	29,953
プログラム支援額合計	36,701,423
プログラム支出額	
プロジェクト①0歳～6歳を対象とした事業	5,291,160 ●
プロジェクト②7歳～20歳を対象とした事業	12,922,503 ●
プロジェクト③21歳以上(成人)を対象とした事業	6,073,217 ●
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	12,188,759 ●
プログラム支出額合計	36,475,639
次期繰越額	225,784

活動内容

プロジェクト①0歳～6歳を対象とした事業

- ・保護者を対象とした衛生的な習慣に関する研修
- ・保護者を対象とした栄養に関する研修
- ・就学前教育センター(幼稚園)への支援

プロジェクト②7歳～20歳を対象とした事業

- ・読解や算数が苦手な生徒に対する特別講習の実施
- ・スポーツや文化的活動などの課外活動の支援
- ・ビジネスや職業スキルの研修

プロジェクト③21歳以上(成人)を対象とした事業

- ・収入向上のための農業研修
- ・デング熱やジカ熱の予防に関する啓発

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

- ・手紙や成長報告を通じたチャイルドとの交流
- ・チャイルドの定期的なモニタリング
- ・「子どもを中心とした開発」についての啓発活動
- ・多様な価値観や他者との共存をテーマとした「平和祭り」の開催

※上記のプロジェクトのほかに、2015年～2016年には募金による特別プロジェクトで幼稚園の教室の増築と、小中学校の教室の修復を実施しました。